

平成25年度ジャンプOSCE 報告書



平成26年2月7日(金)開催

主催:長崎大学病院
医療教育開発センター

2013年度 ジャンプOSCE

(目的) 臨床研修の1年次研修を終了するにあたり、基本的技能と知識を評価し、2年次研修へ役にたてるためにフィードバックする。
1年次必修の研修です。

(日時) 2014年2月7日(金) 13:00~17:00

(場所) 12:30から第3講義室(外来棟1F)で受付

(ブース内容) 1回25分×8(1グループ:4~5名)

参加者

1年次研修医: 38人(全1年次研修医より、院外勤務者を除く)

2年次研修医(スタッフ): 7人

医師: 8人

ブース概要

	内容	概要	場所	担当医師	担当
内科	呼吸器	胸部画像読影	チュートリアル室3(2F)	原先生	
	消化器	出血性胃潰瘍(問診)	チュートリアル室4(2F)	松島先生	土井先生
	神経	めまい、ふらつき(問診)	チュートリアル室5(2F)	中田るか先生	上木先生
	腎臓	腎臓・電解質分野の知識・技術	シミュレーションセンター	小畑先生	貞松先生

	内容	概要	場所	担当医師	担当
救急	ショック	感染症(抗菌薬によるアナフィラキシー症状)	教授室	宮本先生	辻先生
	T&A	心不全	チュートリアル室1(1F)	高橋先生	吉村先生
	外傷	緊張性気胸	第4会議室	山下先生	江原先生
	気道	気道確保	リハ室横 更衣室	長谷先生	花牟禮先生

OSCE時間割

場所	チュートリアル室 2(1F)	チュートリアル室 6(4F)	チュートリアル室5 (4F)	チュートリアル室3 (4F)	シミュレーション センター	教授室	第4会議室	リハ室横 更衣室
	ブース1 (高橋先生)	ブース2 (原先生)	ブース3 (松島先生)	ブース4 (中田る先生)	ブース5 (小畑先生)	ブース6 (宮本先生)	ブース7 (山下先生)	ブース8 (長谷先生)
12:30-12:45	第3講義室前にて受付							
12:45-12:50	事前説明: 山下和範先生							
12:50-12:55	集合写真撮影							
12:00-13:00	ブースへ移動							
13:00-14:55	ブース第1クール							
13:00-13:25	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループF	グループG	グループH
13:30-13:55	グループH	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループF	グループG
14:00-14:25	グループG	グループH	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループF
14:30-14:55	グループF	グループG	グループH	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE
14:55-15:05	休憩							
15:05-17:00	ブース第2クール							
15:05-15:30	グループE	グループF	グループG	グループH	グループA	グループB	グループC	グループD
15:35-16:00	グループD	グループE	グループF	グループG	グループH	グループA	グループB	グループC
16:05-16:30	グループC	グループD	グループE	グループF	グループG	グループH	グループA	グループB
16:35-17:00	グループB	グループC	グループD	グループE	グループF	グループG	グループH	グループA
17:05-17:20	講評、アンケート							

グループ分け

グループ	名前	グループ	名前
A	川口 祐太郎	E	中村 裕一郎
	岡本 百々子		松本 浩平
	宮村 拓人		西畑 伸哉
	本田 徳鷹		小林 典子
	倉田 青弥	F	徳永 敬介
B	谷口 育昌		伊藤 裕也
	徳満 純一		山田 洸夢
	秋山 郁人	藤田 拓郎	
	伊藤 達弘	G	大野 純希
冠地 信和	福嶋 理知		
C	中尾 志郎		藤江 祥子
	林 康平	大園 恵介	
	尾曲 久美	H	丸山 圭三郎
	中岡 賢治朗		明石 周爾
田中 佑	高島 寿美恵		
D	水野 貴基		片山 宏己
	道辻 徹		
	大山 かほり		
	河西 佑介		
	松本 理宗		

呼吸器内科／胸部画像読影
担当:原 信太郎 先生

受講者は、肺結核、肺うっ血、肺癌、縦隔気腫などの胸部単純X線写真、胸部CT写真を見て、最も疑うべき疾患は何か、どういう対応をするかを回答します。



消化器内科／出血性胃潰瘍
担当:松島 加代子 先生

消化管出血の患者に対し、初期対応を行い、適切に専門医への引き継ぎができるかを見ます。



シミュレータを使って、ルート確保手技を行います。

神経内科／めまい、ふらつき
担当:中田 るか 先生



めまい、ふらつきの診療ができることが目的で、既往歴、家族歴、内服薬などが聴取できるか、小脳失調や麻痺の診察ができるかをチェックします。



腎臓内科／腎臓・電解質分野の知識・技術
担当:小畑 陽子 先生



◀ バッグバルブマスクによる換気

診察後、検査のオーダーをし、高カリウム血症に対する処置や緊急透析の必要性の

判断ができるか、また緊急時の対応ができるかが見られます。



外傷センター／抗菌薬による
アナフィラキシーショック
担当:宮本 俊之 先生



このブースは、アナフィラキシーに対する緊急の対応を理解して実行できることが目的です。

抗菌薬を投与後のアナフィラキシーに対し、初期対応および処置を行うことができたか振り返ります。



井上病院／T&A
担当:高橋 優二 先生

今回は、咳、痰などの呼吸苦により男性患者が外来受診した設定です。



先生、苦しか〜

2年次研修医 Y先生の演技が光ります



救命救急センター／緊張性気胸
担当:山下 和範 先生

歩行中に乗用車にはねられた患者が救急外来に運ばれてきました。

各部位の所見をとり、創外固定や血管造影のコンサルトをします。



救命救急センター／気道確保
担当:長谷 敦子 先生

気管挿管に必要な物品の確認後、スニフingポジション、頭部の愛護的操作、開口障害の確認をします。



シミュレータを使って、輪状甲状靭帯切開を行いました。

長崎大学病院
医療教育開発センター

電話 (095) 819-7881

FAX (095) 819-7882

〒852-8501

長崎市坂本1丁目7番1号

協力: アイ・エム・アイ株式会社
山下医科器械株式会社